

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践…「どこを目指しているのかが分からない」という声が、職員面談で多く聞かれた。トップのものが理念を伝えきれておらず、現場でも方向性がバラバラになってしまう。	「富永グループホーム」が何を大切にしているか、職員が共有できること。ご家族・地域の方にもご理解いただくこと。	・職員入社の際には、富永グループホームの理念をまず伝えることから始める。 ・建物内の見やすい場所に、分かりやすい言葉で掲げる。 ・キャッチフレーズの再検討をする(期間を定めて)	12ヶ月
2	40	食事を楽しむことのできる支援…3食とも病院から運ばれてきたものであり、目の前で調理をする機会が少ない。入居者と一緒に食べるという機会が少ない。	・手指を清潔にした上で、食事の準備やおやつ作りに携われる。 ・検食を、入居者と一緒に食べる機会ができる。	・いきなりすべての料理を作る、というのではなく、まずはおやつ作りなど、簡単なことから初めてみる。 レクレーションの一環として。 ・検食について相談し、導入に向けて行動する。	12ヶ月
3	36	チームで作る介護計画とモニタリング…担当者会議を開き、それぞれの入居者に沿ったプランを立てているが、途中でプランがうまく実行されないことが出てくる。	・職員全員が、入居者一人ひとりのケアプランを理解し、実行に移せる。 ・プランに不都合が出てきたら、そのままにせず、見直していける。	・ケアプランを、常に目につきやすいところに貼るようにする(記録の扉ページなど) ・うまく実行されていないと気づいたら、実行しづらい原因を話し合い、他の方法を検討する。	6ヶ月
4	10	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保…少人数制で、長年お付き合いしていると、ついつい声かけが慣れ慣れしくなってしまうことがある。アットホームな雰囲気は大切だが、場面場面で、けじめは必要。	・入居者さんが不快な気持ちをする事なく、過ごせる。 ・ご家族が、ケアを安心して見ていられる。	・接遇について、外部講師による研修を取り入れる。 ・ご家族に、接遇に関するアンケートをとる。 ・自分自身に置き換えて、考えてみる。	6ヶ月
5	26	運営に関する利用者・家族等意見の反映…ご家族さんらの意見を十分に吸い上げられていないように感じる。また、そのような機会が少ない。(家族の会などはなく、外部評価の他にアンケートをとることもない)	「入居者のための」居場所であることを常に考え、遠慮なくご意見をいただける雰囲気を作っていく。	・年度末等、ご家族にアンケートをとる。 ・運営推進会議で、次回はどのようなテーマで話し合いをするか、など事前に周知する。より多くの方が参加できるようにする。 ・ご家族同士が顔を合わせられる機会を増やす。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。